

食の大切さ分かりやすく

発行2年目を迎えた「食育通信」



別海・上春別中服部教諭

「通信」発行が2年目に

【別海】上春別中(田)

中彰校長、25人)の服部美恵養護教諭が毎月作成する「食育通信」が発行2年目を迎えた。生徒や保護者に配布するほか、同校のブログサイトにも掲載。食事のマナーや朝食を取ることの大切さなどを分かりやすく伝えていく。

A4用紙1枚の食育通信は、服部教諭が同校に着任した昨年4月に始めた。「身近な話題から食に関心を持ってもらいたい」との思いから毎月19日の「食育の日」を中心に発行を続けている。

昨年度は13号を発行。調理実習の報告のほか、食事の配膳方法や地産地消についてイラスト入りで解説したり、弁当持参の日に教諭の弁当を紹介するなど、幅広い内容で構成されている。

食育通信には毎月「食べることは生きることの基本」と記載する。服部教諭は「正しく楽しく食に接するためのきっかけになってくれれば」と話している。